

# 倉橋学園小中一貫教育だより



## くらがく

平成27年度 第2号

発行： 倉橋学園 < 呉市立倉橋小学校・呉市立倉橋中学校 >

発行日： 平成27年 11月10日（火）

特集

### 家庭での過ごし方

朝晩と涼しくなり、秋らしく過ごしやすい季節になってきました。2学期が半分過ぎた今、子供たちは、勉強にスポーツにと日々励んでいるところです。

さて、今回の小中一貫教育だよりでは、倉橋学園最重要課題の家庭学習と読書にスポットをあててみたいと思います。

#### 家庭学習編

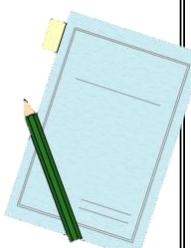
**Q1. 学校では、毎日必ずと言っていいほど宿題があります。倉橋学園での宿題の取組について教えてください。**

小：小学校では、宿題提出100%を目指しています。提出100%を目指す理由は、まず家庭で勉強する習慣を身につけてほしいという願いからです。提出はほぼ100%になっていますが、出された宿題を全てやりきっていない子や、せっかくやった宿題を家に忘れてくる子がいます。

中：中学校でも同様です。中学校では毎日生活ノートや数学自主勉強ノートなど全校で毎日出されているものと、各教科で出されている宿題があります。それらは全て評価につながります。

小：宿題を提出していても、その内容に課題がある場合も見られます。あわててやっていたり、だらだらやっていたりなど、提出されたノートやプリントを見れば家庭での生活の様子が分かります。せっかく勉強をするのに、力がつかない勉強の仕方ではもったいないと思います。

中：中学生はこつこつ家庭で取り組む生徒もいれば、教科に間に合うように休憩時間にばたばたとする生徒もいます。あわててやると、内容が身につかないだけでなく、休憩と授業の区別がなくなり授業中注意を受けることが多くなります。さらに、注意を受けてやる気を無くしたり、自信を無くしたりする悪循環におちいります。



**Q2. 宿題を後回しにする原因には、どんなことが考えられるのでしょうか。**

小：小学校では、テレビとゲームの時間が多いことが考えられます。1日3時間以上ゲームをしている子がいます。

中：中学校でも、テレビとゲームに1日2時間以上かける生徒が46%にのぼります。

小：ゲームについての家庭の約束がない状態なのでしょうか。

中：お手伝いや家族のだんらんがあるのか…  
そちらも気になります。



#### 読書編

**Q3. 授業中発表したい考えたいするとき、読書の力が大切だと聞いたことがあります。倉橋の子ども達は本を読んでいますか？**

小：5年生対象の調査で、1か月に6冊以上本を読む児童が広島県の平均では39%に対して倉橋小学校は13%という結果が出ています。

中：中学校でも、「本が好きです。」という質問に「好きだ」と肯定的に答えた生徒が6割をきっています。言葉の力だけでなく、読書は集中力や想像力も養い、感動も生み、生きる力になります。

小：秋の夜長、家族みんなで本に親しむのもいいですね。一人一人がお気に入りの本を手にするので、本を好きな子になってほしいです！



《 小学校 本吉校長先生にインタビュー 》

**Q4. 小学生へのおすすめの本を教えてください。**

小学生、特に低学年の子供たちに読み聞かせたい絵本として五味太郎さんの「ももたろう」を紹介します。誰もが知ってるももたろう。さる、犬、きじ、そして鬼と有名なキャラクターがみんな出てきます。

そして、鬼ヶ島へ鬼退治に…。見事鬼を退治してめでたし、めでたし。という筋がお馴染みです。

ところが、この「ももたろう」は、一味違います。賑やかで、楽しくて、心が温かなるお話です。時間があれば、ぜひ、倉橋小学校の低学年の子供たちに読んでやりたいなと思っています。



《 中学校 濱田校長先生にインタビュー 》

**Q5. 思い出の1冊は何ですか？**

高校時代、友人関係がうまくゆかず、悩んでいた時、出会ったのが司馬遼太郎の『龍馬がゆく』でした。幕末の英雄、坂本龍馬の一生を描いた作品です。

龍馬は小さい頃は泣き虫でしたが、剣道を通じて強くたくましくなってくゆき、ついには仲の悪かった薩摩と長州の手を結ばせ（薩長同盟）、徳川幕府を倒す巨大勢力をつくりあげます。そのスケールの大きさに比べ、自分はなんて小さいんだろう、と感じました。龍馬にあこがれ、繰り返し読み、気に入った言葉に線を引き、感想を書き込んだその本は、40年たった今でも本棚に大切に置いてあります。

